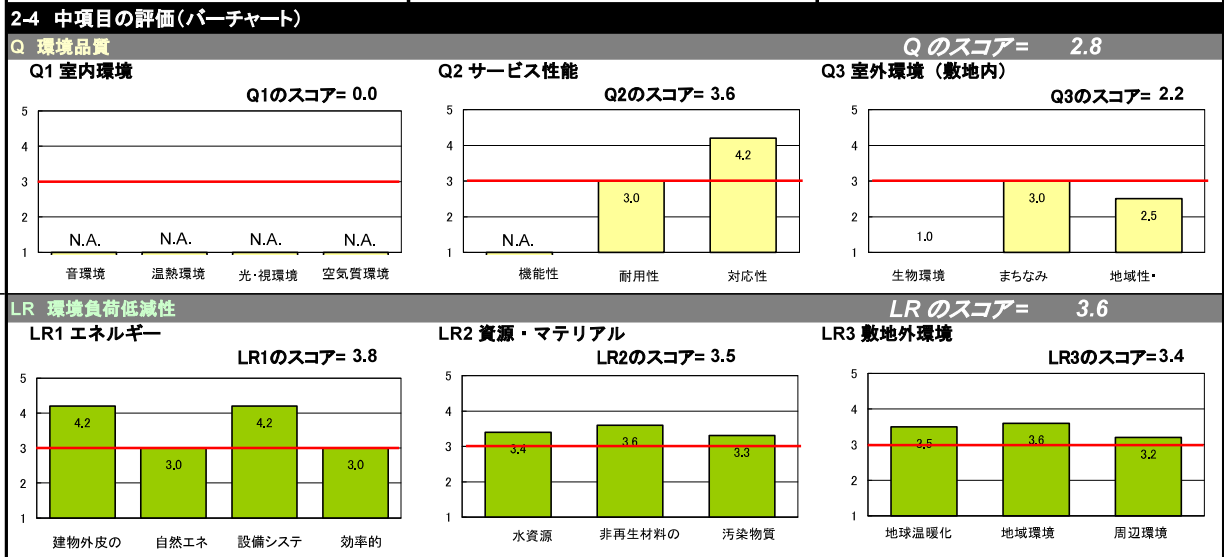
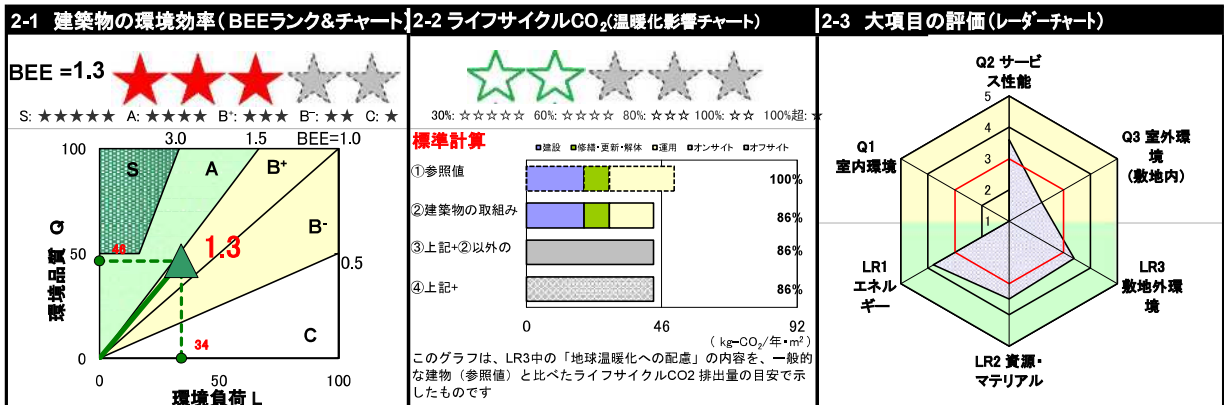
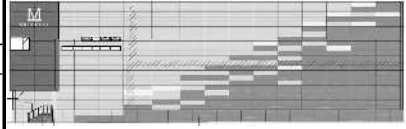


1. 建物概要										
建物名称	(仮称) (株)エムツー静岡新社屋					BEE	1.3	BEEランク	B+	★★★

2. 重点項目への取組み度									
重点項目	得点※/満点		取組み度				評価		
“ふじのくに地球温暖化対策実行計画”の推進 (Global Warming)	3.4	/5					ふつつ		
“災害に強いしずおか”の形成 (Disaster)	3.0	/5					ふつつ		
“しずおかユニバーサルデザイン”の推進 (Universal Design)	3.8	/5					ふつつ		
“緑化及び自然景観”の保全・回復 (Nature)	2.4	/5					がんばろう		
※対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示 します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)			評価 凡例	よい 4 点以上			ふつつ 3 点以上		
							がんばろう 3 点未満		

3. 重点項目についての環境配慮概要										
各項目について配慮した内容を、該当する番号(①～)を示し記述してください。						内訳対応項目				
“ふじのくに地球温暖化対策実行計画”の推進(Global Warming)						得点		3.4		
	■室内環境対策 (①室温制御/②昼光対策/③グレア対策/④部品・部材の耐用年数) ④床: 塗装20年、壁: 塗装15年、天井: 鋼板40年 ④給水汚水排水配管の主要用途3種についてB以上で、Eは不使用					Q-1 2	2.1	2.1.2	①	外皮性能
						Q-1 3	3.1	3.1.3	②	昼光利用設備
							3.2	3.2.1	③	昼光制御
						Q-2 2	2.2	2.2.1	④	躯体材料の耐用年数
							2.2.2	④	外壁仕上げ材の補修必要間隔	
							2.2.3	④	主要内装仕上げ材の更新必要間隔	
							2.2.4	④	空調換気ダクトの更新必要間隔	
							2.2.5	④	空調・給排水配管の更新必要間隔	
							2.2.6	④	主要設備機器の更新必要間隔	
	■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上)					Q-3 1			⑤	生物環境の保全と創出
						3	3.2		⑥	敷地内温熱環境の向上
	■エネルギー対策 (⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率的運用) ⑦BPI _m =0.88 ⑨BEI _m =0.68					LR-1 1			⑦	建物外皮の熱負荷抑制
						2			⑧	自然エネルギー利用
						3			⑨	設備システムの高効率化
						4	4.1		⑩	モニタリング
							4.2			運用管理体制
	■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫非再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避) ⑪自動水栓や節水型便器を採用 ⑫ハイベスNEO工法、QLデッキ、ファブデッキ工法を採用 ⑬断熱材: スラブ下、廊下床: ビニル系床材 ⑬躯体+LGS+仕上とし、躯体と仕上材が容易に分別可能、取外し可能。再利用できるユニット部材としてOAFフロアを採用。 ⑬ODP=0、GWP=10未満の発泡剤を用いた断熱材を使用					LR-2 1	1.1		⑪	節水
							1.2	1.2.1	⑪	雨水利用システム導入の有無
								1.2.2	⑪	雑排水等利用システム導入の有無
						2	2.1		⑫	材料使用量の削減
						2.2		⑫	既存建築躯体等の継続使用	
						2.3		⑫	躯体材料におけるリサイクル材の使用	
						2.4		⑫	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	
						2.5		⑫	持続可能な森林から産出された木材	
						2.6		⑫	部材の再利用可能性向上への取組み	
					3	3.1		⑬	有害物質を含まない材料の使用	
						3.2	3.2.1	⑬	消火剤	
							3.2.2	⑬	断熱材	
							3.2.3	⑬	冷媒	
■敷地外環境対策 (⑭地球温暖化への配慮/⑮温熱環境悪化の改善) ⑭ライフサイクルCO2排出率86%					LR-3 1			⑭	地球温暖化への配慮	
					2	2.2		⑮	温熱環境悪化の改善	
“災害に強いしずおか”の形成(Disaster)						得点		3.0		
	■サービス性能対策 (⑯耐震・免震/⑰信頼性) ⑰光ケーブル、メタルケーブルなど通信多様化、UPSの設置など					Q-2 2	2.1	2.1.1	⑯	耐震性
								2.1.2	⑯	免震・制振性能
						2.4	2.4.1	⑰	空調・換気設備	
							2.4.2	⑰	給排水・衛生設備	
							2.4.3	⑰	電気設備	
							2.4.4	⑰	機械・配管支持方法	
							2.4.5	⑰	通信・情報設備	
“しずおかユニバーサルデザイン”の推進(Universal Design)						得点		3.8		
	■サービス性能対策 (⑱機能性・使いやすさ/⑲心理性・快適性/⑳空間のゆとり) ㉑平均階高3.9m以上 ㉑0.1≤[壁長さ比率]<0.3					Q-2 1	1.1	1.1.3	⑱⑲	ユニバーサルデザイン計画
						3	3.1	3.1.1	㉑	階高のゆとり
							3.1.2	㉑	空間の形状・自由さ	
■室外環境(敷地内)対策 (㉒地域性・アメニティへの配慮)					Q-3 3	3.1		㉒	地域性への配慮、快適性の向上	
“緑化及び自然景観”の保全・回復(Nature)						得点		2.4		
	■室外環境(敷地内)対策 (⑲生物環境の保全と創出/㉑まちなみ・景観への配慮/⑥敷地内温熱環境の向上)					Q-3 1			⑲	生物環境の保全と創出
						2			㉑	まちなみ景観への配慮
					3	3.2		⑥	敷地内温熱環境の向上	
■敷地外環境対策 (⑫持続可能な森林から産出された木材/⑮温熱環境悪化の改善)					LR-2 2	2.5		⑫	持続可能な森林から産出された木材	
					LR-3 2	2.2		⑮	温熱環境悪化の改善	

1-1 建物概要			1-2 外観	
建物名称	(仮称) (株)エムツー静岡新社屋	階数	地上2F	
建設地	静岡県静岡市葵区牧ヶ谷2382-2	構造	S造	
用途地域	準工業地域、法第22条区域	平均居住人員	20 人	
地域区分	7地域	年間使用時間	4,695 時間/年(想定値)	
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価	
竣工年	2025年11月 予定	評価の実施日	2024年11月12日	
敷地面積	5,571 m ²	作成者	木内建設株式会社一級建築士事務所	
建築面積	2,068 m ²	確認日		
延床面積	3,710 m ²	確認者		



3 設計上の配慮事項		
総合 これはCASBEE静岡(2021年版)による評価結果です。 リサイクル砕石の採用、残土の再利用を計画している。 二重折板、複層ガラス(事務所エリア)を採用し、屋内の住環境に配慮している。 倉庫内は誘引ファンを採用し、空調設備が無い空間の環境に配慮している。		
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境 (敷地内)
-	階高を高く設定し、壁長さ比率を小さくすることにより空間にゆとりをもたせている。	建物の色彩計画は静岡市の基準を満たす内容とし、まちなみ・景観に配慮している。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
LED照明を採用するなど設備システムの高効率化に配慮している。	OAフロアを採用するなど部材の再利用可能性向上への取り組みをしている。	燃焼器具を採用せず、大気汚染の防止に配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される